

参考資料

平成28年3月30日(水)
第3回「青森駅を中心としたまちづくり有識者会議」

アウガについて

将来のアウガの姿

- 本市の中心市街地活性化と施設の有効活用の観点から、アウガを公共化※し、引き続き、中心市街地のにぎわい創出を目指す。
- 青森駅前再開発ビル株式会社からの要請に基づき、アウガ公共化の検討過程で、同社のあり方について早急に結論が得られるよう、同社との連携のもと、関係者と協議を進める。

※ アウガの公共化

市が、アウガの全ての土地及び床を取得すること。

新生アウガ

- 新たな機能として、地階から4階に『食のフロア』と『にぎわい交流機能』を付加することにより、にぎわい効果が高い空間に生まれ変わらせ、引き続き、中心市街地活性化を牽引する核的施設としての機能を発揮させ、中心市街地のにぎわい創出を目指す。
- 「新生アウガ」に導入する『にぎわい交流機能』については、市民や議会等の意見を踏まえ、アウガ再生プロジェクトチームが提言したインタラクティブ コミュニティ化も参考に、中心市街地のにぎわい創出と市民参加の促進につながる機能となるよう検討を進める。

新生アウガのイメージ(平成29年度の中頃以降)^(※公共化に関する取組が順調に進んだ場合)

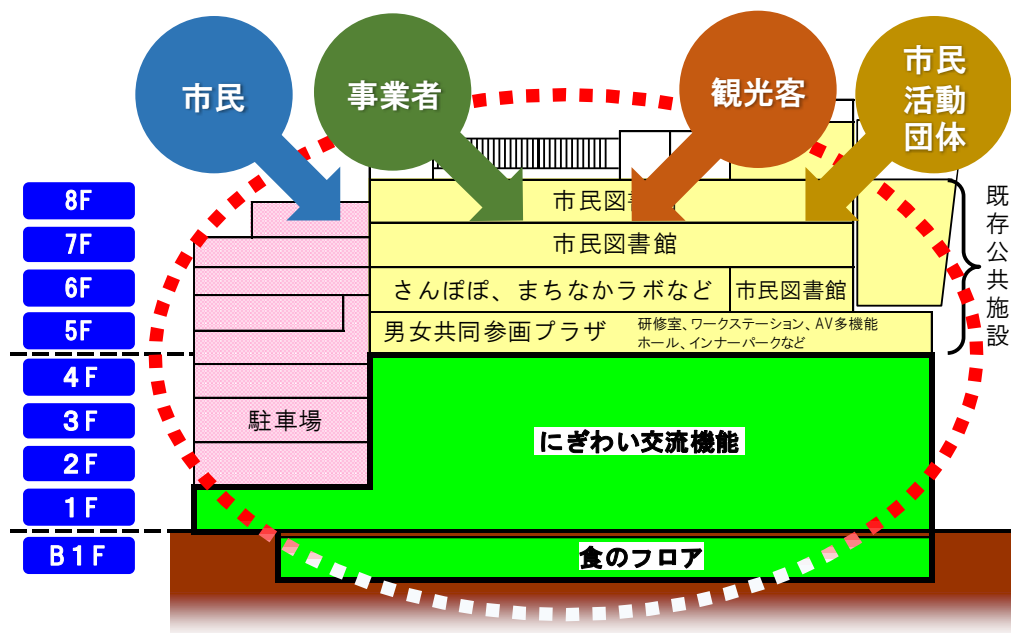
- 新生アウガのリニューアルオープン時期は、アウガの公共化に関する土地及び床の取得などの取組に要する期間等を考慮すれば、順調に進んだ場合であっても、早くとも平成29年度の中頃以降となると想定される。

新生アウガのイメージ

【地階】 現在の新鮮市場中心の食のフロアとし、今後、関係者と協議を進める。

【1階～4階／にぎわい交流機能】

- 市民や市民活動団体、事業者、観光客など、様々な人や企業、団体が、世代や性別、団体の枠を超えて集い、交流、連携できる機能を導入する。



■ あおり市民100人委員広聴会の委員からいただいた、にぎわい交流機能の具体に対する主な提案内容

- 市民が集い、交流できるスペース
- 健康づくり機能
- 大学の研究スペース
- 子どものための施設
- 青森の特産物コーナー
- 棟方志功に関するコーナー
- 新鮮市場、飲食店、洋服店 など